

令和3年度学校自己評価システムシート (県立越谷総合技術高等学校)

目指す学校像	社会に貢献する産業人材を育成するために、自ら進んで学ぶ礼儀正しい生徒を育てる。
--------	---

※学校関係者評価実施日とは、最終回の学校評価懇話会を開催し、学校自己評価を踏まえて評価を受けた日とする。

重点目標	<ol style="list-style-type: none"> 主体的に学ぶ姿勢を育て、生徒一人一人の学力を向上させる。 規範意識を高める指導を推進し、豊かな人間性を持った生徒を育てる。 キャリア教育の充実により、進路に対する意識を高め、希望する進路を実現する。 地域等との連携と積極的な情報発信により、本校教育への理解を深める。
------	--

達成度	A	ほぼ達成(8割以上)
	B	概ね達成(6割以上)
	C	変化の兆し(4割以上)
	D	不十分(4割未満)

出席者	学校関係者 生徒 事務局(教職員)	名 名 名
-----	-------------------------	-------------

※ 重点目標は3つ以上の設定も可。重点目標に対応した評価項目(年度達成目標を意味する。)は複数設定可。
 ※ 番号欄は重点目標の番号と対応させる。評価項目に対応した「具体的方策、方策の評価指標」を設定。

学 校 自 己 評 価					年 度 評 価 (2 月 1 日 現 在)		
年 度 目 標					年 度 評 価 (2 月 1 日 現 在)		
番号	現状と課題	評価項目	具体的方策	方策の評価指標	評価項目の達成状況	達成度	次年度への課題と改善策
1	学習習慣のある生徒がいる反面、定着していない生徒も少なからずいる。自ら計画を立て考え行動できるよう、見通しを持って取り組ませることが必要である。 プロジェクタや chromebook が整備された。有効な活用方法を探っていく必要がある。 ICT を情報を得るためのみに使用している生徒が多い。双方向でのやり取りや学習ツールとして活用させる授業を実践することが重要である。	生徒自らが計画を立てて学習に取り組めるよう、学びの環境を整える。	① ① ① ① ② ② ② ② ③ ③ ③ ③ ④ ④ ④ ④	① ① ① ① ② ② ② ② ③ ③ ③ ③ ④ ④ ④ ④			
		授業における ICT の有効な活用方法を検討し、取り入れる。	① プロジェクタや chromebook、Google classroom を用いた授業を行い、理解度や意欲の向上を図る。 ② 授業公開等を活用し教職員間で学びあい、授業力を向上させる。	① プロジェクタや chromebook、Google classroom を活用することにより、興味関心が高まり、理解が増したか。 ② 生徒の授業に対する満足は高まったか。			
2	挨拶ができ、礼儀正しい生徒が大半を占めているが、部活動の参加割合が減少傾向にある。人間形成に大きな役割を果たす学校行事や部活動に、積極的に取り組む姿勢を育む必要がある。 交通事故件数は減少傾向にあるが、加害事故も発生しており、さらに交通規則遵守の啓蒙活動強化が求められる。 悩みを抱えた生徒の増加や SNS に関連する問題が散見されるため、教育相談体制の構築やネットマナー教育を様々な場面で行う必要がある。	学校生活・学校行事・部活動活動調査における生徒の満足度を高める。	① 挨拶指導、身だしなみ指導を継続する。 ② コロナ禍に即した対策を行った上で、学校行事や部活動に取り組む時間を確保する。	① 全ての生徒が身嗜みを整え、誰にでもきちんと挨拶ができるか。 ② 部活動の参加割合が高まったか。学校生活への満足度はどうか。			
		交通事故件数を減少させる。	通学路での立哨指導を継続し、交通安全教育を適切な時期に実施する。また、事故に遭った際の対応手順を徹底させる。	前年より交通事故数が減少したか。また、事故後の対応に関する問題数は減少したか。			
		問題行動対応数を減少させる。	① 保健室や担任との連携強化により生徒情報の適切な共有を図る。 ② 電算部と連携し効果的なネットセキュリティ教育を行う。	① 関係する教職員間において教育相談に関する情報共有ができたか。 ② ネットモラルに関わる生徒指導件数が減少したか。			
3	昨年度の就職指導に関する満足度は 95%であった。引き続き、満足度を維持し、ミスマッチを防ぐ指導を行う。新型コロナウイルスの影響による就職活動の不安解消のため、手立てを講じる。 進学指導に関する満足度は 98%と高水準であった。志望校に合格させるために、入試制度に対応した指導と受験対策を行う。	就職希望者の満足度において前年度を上回る。	① コロナ禍での企業採用計画等を知るために企業訪問の回数および訪問企業数を増やし、収集した情報を指導に役立てる。 ② ミスマッチのないように、生徒との個別相談、学年・担任との情報共有に努め、長く勤められよう意識付けを行う。	① 企業訪問から得た情報を指導に役立てることができたか。 ② 就職希望者の満足度は増加したか、進路実現に向けて取り組めたか。			
		進学希望者の満足度を維持し、継続して指導体制を整える。	① 長期休業中に進学者登校日を設定し、進学に関する相談等を行う。 ② 夏季休業中に自習室を設け、受験対策を行う。	① 進学希望者の満足度は増加したか、進路実現に向けて取り組めたか。 ② 自習室を開放して、生徒へ受験対策を行えたか。			
4	保護者アンケートの結果からホームページの閲覧数が昨年度に比べ 10%増加したが、ホームページの内容を、時期を逃さず更新する必要がある。 コロナ禍に即した形で地域に関わる行事に参加し、本校の教育活動を理解してもらうよう更なる工夫が必要である。	積極的な情報発信により、魅力的なホームページを構築する。	① ホームページの内容を魅力的にわかりやすく更新し、スマートフォンへの対応を進める。 ② 部活動の成績や各学科のコンテスト、競技会の結果を発信する等、月に 1 回は更新し、学校の活動を積極的にアピールする。	① 保護者アンケートの結果において、ホームページの満足度が増加したか。 ② 各部や学科で月に 1 回はホームページを更新できたか。			
		中学生・保護者の要望を取り入れ、内容を工夫した学校説明会等を実施する。	① 学校説明会等の日程・内容を改善し、参加者数の増加を目指す。 ② 地域貢献として、地域事業やイベント等の共同研究や活動に、積極的に参加する。	① 体験入学や学校説明会への参加者が増加し、本校に興味関心を示す中学生が増えたか。 ② 地域の信頼や評価が高まったか。			

学 校 関 係 者 評 価		
実施日	平成	年 月 日
学校関係者からの意見・要望・評価等		

